



## 1/27・28 亀山大市

東町・本町通りを中心に、「亀山大市」が開催されました。この大市は、旧正月用品の謝恩売り出しから始まったとされ、100年以上の歴史がある市内最大の冬の名物行事です。通りには、出店や市民団体によるブースなどが立ち並び、家族連れなどの多くの人でにぎわいました。



## 2/10~ 東海道のおひなさま 亀山宿・関宿 ※3月4日(日)まで開催

旧東海道の亀山宿と関宿の町家や商店(約90軒)に、おひなさまが飾られる「東海道のおひなさま 亀山宿・関宿」が開催されています。長い年月大切に受け継がれ時代を感じさせるひな人形、かわいらしいひな飾りなどが、訪れる人々たちを楽しませています。



## 2/11 第64回亀山市駅伝競走大会

歴史博物館から関文化交流センターまでの23.5km(7区間)を結ぶ、「第64回亀山市駅伝競走大会」が開催されました。41チーム約280人の選手が力走し、たすきをつなぎました。摂南大学(一般の部)、みどり町連合自治会A(自治会の部)、(株)ジェイテクトA(事業所の部)が、各部門の優勝に輝きました。

まちの話題に  
ズームアップ

## 亀山温泉「白鳥の湯」の温泉水でトマトの糖度が上がる!

四日市大学環境情報学部4年の伊藤旭人さんが、卒業研究で、亀山温泉「白鳥の湯」の温泉水を使ったトマトの栽培実験を行いました。

結果は、「白鳥の湯の温泉水を与える頻度が多いほど、トマトの糖度が上がる」とのことです。白鳥の湯は、塩分(ナトリウム)を豊富に含んだ温泉水なので、その効果で糖度が上がるそうです。

伊藤さんは亀山市在住で、「地元に貢献したい」との思いから、「温泉資源を活用した地域ブランド農産物の創出への挑戦」をテーマに、亀山温泉「白鳥の湯」の温泉水を研究に使用されました。この研究は「第4回わかもの学会」(2月3日に四日市大学で開催)で最優秀賞に選ばれました。



▲伊藤さん(下段右から2人目)と大学の仲間たち  
◀「白鳥の湯」前で、伊藤さん(左側)と大学の先生とともに